

1. 調査報告概要表

作成日 平成21年11月4日

【認知症対応型共同生活介護用】

【評価実施概要】

事業所番号	2774500835
法人名	社会福祉法人 アムリタ
事業所名	グループホームアムリタ
所在地	泉佐野市長滝842番地1 (電話) 072-466-6111

評価機関名	社会福祉法人 大阪府社会福祉協議会
所在地	大阪市中央区中寺1丁目1番54号 大阪社会福祉指導センター内
訪問調査日	平成 21年 10月 16日

【情報提供票より】(平成 21年 9月 1日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 15年 10月 1日		
ユニット数	1ユニット	利用定員数計	9人
職員数	9人	常勤 5人, 非常勤 4人, 常勤換算	7.3人

(2) 建物概要

建物構造	鉄筋コンクリート 造り		
	4階建ての	3階 ~	3階部分

(3) 利用料金等 (介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	35,000円	その他の経費(月額)	15,000円
敷金	有 (円) 無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有 (円) 無	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり 1,000円		

(4) 利用者の概要 (平成 21年 9月 1日現在)

利用者人数	9名	男性 0名	女性 9名
要介護1	1名	要介護2	3名
要介護3	4名	要介護4	1名
要介護5	0名	要支援2	0名
年齢	平均 87.7歳	最低 80歳	最高 98歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	医療法人栄公会 佐野記念病院、岸村歯科医院
---------	-----------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

ホームの周辺は、静かな街並みと緑が多く、その中にモダンな建物で社会福祉法人が経営する複合施設の3階がグループホームとなっています。施設内は1階から屋上までの中心部が吹き抜けになっており、大きな窓やリビングから自由に出入れるテラスは、自然の光や風、季節感を感じられます。フロアにはいたるところに椅子やベンチがあり、利用者の思いや体調に配慮した工夫がされています。利用者の残存機能を活かし、できるところはできるだけ自分で行えるよう、職員も個別支援を中心に日々取り組んでいます。本人、家族からの意見や苦情は真摯に受け止め、利用者のケアの質の向上に役立てるよう努力しています。質問・相談には丁寧に応え相互理解を深めています。毎年10月に行われる「アムリタ祭」には地域の住民も楽しみにしており、馴染みの関係もできています。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況 (関連科目: 外部4)
	前回の外部評価の改善点については、月1回行われるグループホーム会議内で職員全員が検討しています。また、家族食事会などでも、評価内容について説明し、ご家族からの意見も取り入れ具体的に取り組んでいます。入浴頻度の件では、入浴回数にこだわらず今までのペースを乱さないように、その日の体調や状態により一人ひとりに合った支援を行って行くなどの意見を取り入れ改善に取り組んでいます。新人採用時研修実施ついて、今年度は新人職員の採用がなく実施実績がありませんでしたが、研修内容の方針、準備は整っており研修後の記録報告の必要性も理解されています。
重点項目②	今回の自己評価に対する取り組み状況 (関連項目: 外部4)
	自己評価は職員全員がそれぞれに意見を記入し、その内容を管理者がまとめています。それぞれが記入することで、評価の内容、意義を理解し、日々の業務の振り返りに役立っています。
重点項目③	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み (関連項目: 外部4, 5, 6)
	運営推進会議は2ヶ月に1回開催されており、利用者、家族、民生委員、地域包括支援センターの職員が参加しています。利用者や家族も毎回、交替で参加され活発な意見交換ができています。ホームも質問に対しての返答の説明を丁寧に言い、参加者との相互理解を深めています。
重点項目④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映 (関連項目: 外部7, 8)
	ほとんどの家族は週3回~月1回は訪問があり、その際に個人ごとに作成された出納帳で領収証と残金の確認サインと押印を得ています。法人発行の「アムリタ新聞」は3ヵ月1回、その他、毎月1回「グループホーム新聞」にて、行事や近況報告を写真付きで郵送しています。玄関先とエレベーター内に意見箱を設置し、自由に意見や不満を表せる機会を設けています。家族の訪問時にも積極的に声かけを行い、話す機会を作っています。
重点項目④	日常生活における地域との連携 (関連項目: 外部3)
重点項目④	ハーモニカ演奏の訪問、おはなしボランティア、華道クラブなどが月1回程度あり利用者も参加し楽しみにしています。地域町内会が主催する運動会や盆踊り、だんじり見物など積極的に参加しています。10月に行われる「アムリタ祭」には地域の住民の参加が多く、恒例行事となっており馴染みの関係もできています。

2. 調 査 報 告 書

(部分は重点項目です)

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「家庭的な雰囲気」「居心地のいい空間」「その人の可能性を見出そう」「地域でイキイキ」をホーム独自の理念としています。理念の言葉だけにとらわれず、利用者を中心に住み慣れた地域の中で役割を持ち、生き生きと暮らせる生活を支援しています。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念は共有のリビングに掲げられ、いつでも誰もが目に着く所にあります。職員も理念の内容を理解し、利用者に深くかかわっていく姿勢が日々の業務の中に感じられ、前向きに取り組んでいます。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに務めている	ハーモニカ演奏の訪問、おはなしボランティア、華道クラブが月1回程度あり利用者も参加し楽しみにしています。地域町内会が主催する運動会や盆踊り、だんじり見物など積極的に参加しています。10月に行われる「アムリタ祭」には地域住民の参加が多く、恒例行事となっており馴染みの関係もできています。今後は、地域の町会長や老人会の代表の方に事業所のことを知ってもらい、地域との関係性がより強められるよう、運営推進会議などへの参加を再度お願いされてはいかがでしょうか。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価は職員全員がそれぞれに意見を記入し、その内容を管理者がまとめています。それぞれが記入することで、評価の内容、意義を理解し、日々の業務の振り返りに役立てています。前回の外部評価の改善点については、月1回行われるグループホーム会議内で職員全員が検討しています。また、家族食事会などでも評価内容について説明を行い、家族からの意見も取り入れ具体的に取り組んでいます。新任研修に関しても改善しています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は2ヶ月に1度開催しており、利用者、家族、民生委員、地域包括支援センター職員が参加しています。利用者や家族も毎回交替で参加し、活発な意見交換ができています。ホームも質問に対しての返答や説明を丁寧に行い、参加者との相互理解を深めています。		
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会づくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	事故報告書は迅速に市の窓口に報告しています。相談や必要に応じて、地域包括支援センターや市の職員との関係作りを積極的に行っています。市が行なう市民向けの認知症勉強会に協力しています。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	ほとんどの家族は週3回～月1回訪問があり、その際に個人ごとで作成された出納帳に領収証と残金の確認サインと押印を得ています。毎月1回、行事や活動状況を写真付きで載せたグループホーム新聞を郵送しています。健康状態などの近況報告は面会時や電話で話しています。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	玄関先とエレベーター内に意見箱を設置し、自由に意見や不満を言える機会を設けています。家族の訪問時にも積極的に声かけを行い、話す機会を作っています。利用者や家族などの苦情内容や件数はとりまとめて年間事業報告書で公表しています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	管理者は職員の意見や悩みなどを聞き、できるだけ離職を最小限にとどめる努力をしています。また、月に1回のグループホーム会議の後に職員だけで話し合う機会をつくり、率直な意見などを聞き、改善に努めています。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人全体としての研修が2ヶ月に1回、奇数月に実施され、ほとんどの職員が参加しています。研修報告も残し、欠席者も研修の内容を確認することができます。外部研修も案内等を回覧し、参加希望者には勤務の調整をする等、できるだけ参加の支援をしています。研修は緊急時対応、感染症、認知症など多岐にわたり行われています。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	同業者に呼びかけを行い、今年の9月に泉佐野市地域密着型サービス事業者連絡協議会を設立し、同業者との交流や合同研修等を通じてサービスの質の向上に向けて取り組んでいます。また大阪認知症高齢者グループホーム協議会での相互研修に参加し、グループホーム職員の交換研修で学んだ事や新たな気づきを日々のケアの見直しにつなげる等、質の向上に活かすようにしています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居前には自宅を訪問したり、家族と一緒に何回も見学のため訪問していただいたりして、本人や家族が納得した上で入居を決められるよう工夫しています。訪問時には利用者と交流が持てる場を作り、なじめるような配慮をしています。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学び支えあう関係を築いている	人生の先輩として、利用者から生活の知恵や工夫、調理の時材料の切り方や味付け、縫い物、戦争の時の経験や怖かった話などを聞き、教えてもらうことが多く、そのような場面をできるだけ多く持ち、深く関わる努力をしています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	意思疎通が困難な利用者には表情から汲み取り、触れ合うことで把握に努めています。行事の時には表情や様子を記録し、次回に活かしています。またコミュニケーションをとり、思いや意向を引き出せる場面作りにも配慮しています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	アセスメントを「暮らしの状況」シートにまとめ家族からの聞き取りや関係者からの情報を介護計画の作成に活かしています。作成された介護計画書は、本人、家族に確認してもらい署名、捺印してもらっています。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じた見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	定期的に3ヵ月に1度は見直しを行っています。見直しの際には職員とのカンファレンス、モニタリング、面会時の家族からの情報などを参考にし、現状に即した介護計画を作成しています。利用者の状況変化など必要に応じた見直しも随時行っています。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援（事業所及び法人関連事業の多機能性の活用）					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	年に1回は、個人の要望を職員がくみ取り、お墓参り、住んでいた家や以前慣れ親しんだ場所などに職員と一緒に出かける個別支援を行っています。通院など、家族が困難な時は要望に応じて臨機応変に対応しています。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域支援の協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られた、かかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	かかりつけ医や併設している特養附属の診療所に定期的に通院し、健康管理ができています。体調不良の利用者がいる時などは、特養の看護師に相談してアドバイスをもらったりしています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	ホームとしては今のところ看取りは行わない方針です。入居時や家族交流会時にはホームとしての方針を説明し、質問、相談に応じています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	職員は利用者を人生の先輩として尊重し、馴染みの関係であっても言葉遣いや対応には、誇りやプライバシーを損ねることのないように徹底を図っています。入社時には誓約書を取り交わし、秘密保持の徹底を図っています。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ホームのスケジュールや日課に合わせるだけでなく、利用者の体調や希望に沿って、利用者のペースに合わせた支援をしています。行事への参加も利用者の意向に沿い、参加されない方への対応も用意しています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	併設の厨房から材料のみを運んでもらっていますが、調理、盛りつけ、配膳・下膳などはすべて利用者と一緒にしています。職員は利用者と同じ席につき、必要な時には支援をしながら和やかな雰囲気です。年に数回は利用者と献立を考え、買い物から調理までを行い、テラスで食事をすることもあります。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴日は月・火・木・金曜日となっていますが、希望があれば毎日でも入浴は可能です。ほとんどの方は週3～4回入浴しています。無理強いせず、本人の体調や状況に合わせて対応しています。入浴回数が少ない方に関しては、職員が把握して清拭を行っています。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	本人の生活歴を把握し、塗り絵や習字、カラオケ、料理、裁縫、野菜作りなど、利用者がそれぞれの楽しみや張りを持って生活が送れるような個別支援にも取り組んでいます。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	気候や本人の体調に合わせ、日常的に近所の神社やスーパーで買い物、散歩などに出かけています。春と秋には利用者の希望によりお弁当を作り遠足に出かけています。外食にも出かけています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中 玄関に鍵をかけることの弊害を理解し ており、鍵をかけないケアに取り組ん でいる	複合施設の3階にホームがあり、そこに通じ るエレベーターは電子ロックされていま すが、暗証番号が表示され自由に操作で きるようになっています。玄関は施錠さ れていません。帰宅願望が強い利用者 には職員が早めに察知して声かけを行 い、一緒に外出することもあります。		
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜 を問わず利用者が避難できる方法を身 につけ、日ごろより地域の人々の協力 を得られるよう働きかけている	マニュアルを作成し、年2回(内、1回は夜 間を想定して)消防署の協力を得て避難 訓練を行っています。また、泉佐野市主 催の防災訓練にも地域と連携して参加 しています。災害時の非常用食料の確保 もできています。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一 日を通じて確保できるよう、一人ひと りの状態や力、習慣に応じた支援をし ている	栄養管理は、併設特養の管理栄養士が行 っており、バランスの摂れた食事が提供 されています。食事はチェックされ、利 用者の状態把握を行っています。水分 摂取量は細かくチェックしていません が、1日のおおまかな摂取量を把握し 、必要な利用者には必要量を確保 できるよう職員も情報を共有しています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共有のリビング兼食堂、廊下には椅子やベンチが置かれいつでも、どこでも気の向いたときに使用できるような配慮がされています。建物の中心部が吹き抜けとなっており明るく、開放的な空間作りとリビングから広いテラスに出ることができ、家庭菜園や草花を楽しめ季節感を感じることができます。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室入り口には洗面台があり、他に電動ベッド、洋服ダンスと整理ダンスが備え付けられています。大きめの窓からは外の風景が見え解放感があります。居室は慣れ親しんだ調度品や家族との写真など自由に飾られています。また以前、自宅で使用していたようなセンターラグや物を取り入れるなど、自宅での生活に近い環境が保てるような工夫をしています。		